学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択/required, elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563001001	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (G1~G3_L(韓1))/Kore	ean	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	パク ユギョン / PARK YUKYUNG,	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi	
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	パク ユギョン/PARK YUKYUNG		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	パク ユギョン/PARK YUKYUNG		
科目分類/Course Category	   外国語科目,全学モジュール 科	 目	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室/Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	G1~G3_L(韓1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yukyung.park7 gmail.com(メー		(ださい。)
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室(教養教育事務室)	 の隣)	
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日3~4限の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行いま け、簡単なコミュニケーションが	す。韓国語の基本的な4技能(聞く、 できることを目標とします。	話す、読む、書く)を身につ
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>1. ハングル文字を読み、書くこと</li> <li>2. 身近なトピックについて、口頭</li> <li>3. 身近なトピックについて、文章</li> </ol>	頁(2分以上)で会話できる。	
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 ( 1 つ以上 3 つまで ) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	Diversity 土体性/Autonomy		-
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者と various perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve prod E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than F.教員からの講義のみで構成さ	化を促す授業手法 / Teaching   the above れる br>/ It consists only of lo	ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate
放鎮評価の方法・基準寺/Method of evaluation	55% 合計100点のうち60点以上を合格と	Speaking Test (10点×2回=20点)	+ 定期試験(20点) = 60点
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は技業計画詳細を参照 		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review		り予習復習を行う(0.5h) 、理解を確実にするように努める。 調べ、クラスメートや教員に質問し	
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	配布プリント 冊子状に整理して		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	書類を確認し、教員に提出する。	格とする。やむを得ず欠席した場合 メールや電話で連絡する必要はない。 刻する。打刻を忘れた場合は、入室	0

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか	N N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ ハングルのしくみ(対面)
2010	The state of the s
第2回	Task:透視能力はある?(対面)
第2回	Task:透視能力はある?(対面)
第2回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面)
第2回 第3回 第4回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No. 1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No.1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面) Task: 私は何をしているのかな? (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	Task: 透視能力はある?(対面) Task: きょうだいはいる?(対面) Task: 相性No. 1はだれ?(対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは?(対面) Task: 私は何をしているのかな?(対面) Task: 予定表を作ろう(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面) Task: 私は何をしているのかな? (対面) Task: 予定表を作ろう(対面) Task: 私の趣味は・・・(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第13回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No.1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task:夏休みにしたいことは?(対面) Task:私は何をしているのかな?(対面) Task:私は何をしているのかな?(対面) Task:私なの趣味は・・・(対面) Project 2 身近な人を紹介しよう(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時/Day・Period	月 / Mon 4
開講期間/Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択/required, elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563001002	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (E(韓1)_F1~F3)/Kor	ean	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	パク ユギョン / PARK YUKYUNG,	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi	
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	パク ユギョン/PARK YUKYUNG		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	パク ユギョン/PARK YUKYUNG		
科目分類 / Course Category			
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12	##352717 CO. COURTED CO., CO.	IN L TOMAN
	E(韓1)_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yukyung.park7 gmail.com(メー	ルをする際は、 を@に置き換えてく	[ださい。)
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室(教養教育事務室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日3~4限の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行いま け、簡単なコミュニケーションが	す。韓国語の基本的な4技能(聞く、 できることを目標とします。	話す、読む、書く)を身につ
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>1. ハングル文字を読み、書くこと</li> <li>2. 身近なトピックについて、口頭</li> <li>3. 身近なトピックについて、文章</li> </ol>	頁(2分以上)で会話できる。	
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力/Generic Competend Diversity 主体性/Autonomy	ce 倫理観 / Ethics 多様性の	理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者とvarious perspectives C.技能修得のために実践する活. D.問題解決のために知識を総合utilize knowledge to solve prol E.上記以外の学生の思考の活性students' thinking other than	化を促す授業手法 / Teaching r	ink over  Iving others to think from  for acquiring skills s that comprehensively  methods to stimulate
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(	2点×10回=20点)25% Speaking Test (10点×2回=20点)	
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review		り予習復習を行う(0.5h) 、理解を確実にするように努める。⋮ 調べ、クラスメートや教員に質問し	· ·
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	配布プリント 冊子状に整理して		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	書類を確認し、教員に提出する。	格とする。やむを得ず欠席した場合 メールや電話で連絡する必要はない。 刻する。打刻を忘れた場合は、入室	

長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2948 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
授業は対面形式で実施します。
教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
N
授業内容 / Contents
ウォームアップ・アクティビティ ハングルのしくみ (対面)
Task:透視能力はある?(対面)
Task:きょうだいはいる? (対面)
Task:相性No. 1はだれ? (対面)
Task:クラスの実態調査をしよう(対面)
Project 1 自分のことを伝えよう (対面)
Project 1 自分のことを伝えよう (対面)
スピーキングテスト (対面)
Task: 夏休みにしたいことは? (対面)
Task: 私は何をしているのかな? (対面)
Task:予定表を作ろう(対面)
Task:私の趣味は・・・(対面)
Project 2 身近な人を紹介しよう(対面)
Project 2 身近な人を紹介しよう(対面)
スピーキングテスト (対面)
定期試験 ペーパーテスト (対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択/required, elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563001003	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (L(韓2)_P1・P2_J1~J:	3) / Korean	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目、全学モジュール 科	 目	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室/Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	L(韓2)_P1・P2_J1~J3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp(メ	ールを送信する際は を@に置き換え	にて送信してください)
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希望	望する場合は、授業開始前もしくは	終了後にご相談ください。
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行いま け、簡単なコミュニケーションが	す。韓国語の基本的な4技能(聞く、 できることを目標とします。	話す、読む、書く)を身につ
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>1. ハングル文字を読み、書くこと</li> <li>2. 身近なトピックについて、口頭</li> <li>3. 身近なトピックについて、文章</li> </ol>	頁(2分以上)で会話できる。	
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 土体性/Autonomy		- 1
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者と various perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve prod E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than F.教員からの講義のみで構成さ	化を促す授業手法 / Teaching   the above れる br>/ It consists only of lo	ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate
放鎮評価の方法・基準寺/Method of evaluation	55% 合計100点のうち60点以上を合格と	Speaking Test (10点×2回=20点)	+ 定期試験(20点) = 60点
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は技業計画詳細を参照 		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review		り予習復習を行う ( 0.5h ) 、理解を確実にするように努める。 調べ、クラスメートや教員に質問し	
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	配布プリント 冊子状に整理して		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	書類を確認し、教員に提出する。	格とする。やむを得ず欠席した場合 メールや電話で連絡する必要はない。 刻する。打刻を忘れた場合は、入室	0

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか	N N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ ハングルのしくみ(対面)
2010	The state of the s
第2回	Task:透視能力はある?(対面)
第2回	Task:透視能力はある?(対面)
第2回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面)
第2回 第3回 第4回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No. 1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No.1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面) Task: 私は何をしているのかな? (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	Task: 透視能力はある?(対面) Task: きょうだいはいる?(対面) Task: 相性No. 1はだれ?(対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは?(対面) Task: 私は何をしているのかな?(対面) Task: 予定表を作ろう(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面) Task: 私は何をしているのかな? (対面) Task: 予定表を作ろう(対面) Task: 私の趣味は・・・(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第13回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No.1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task:夏休みにしたいことは?(対面) Task:私は何をしているのかな?(対面) Task:私は何をしているのかな?(対面) Task:私なの趣味は・・・(対面) Project 2 身近な人を紹介しよう(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択/required, elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563001004	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (E(韓2)_D1・D2)/Kore	ean	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目、全学モジュール 科	 目	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室/Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	E(韓2)_D1・D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp(メ	ールを送信する際は を@に置き換え	にて送信してください)
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希望	望する場合は、授業開始前もしくは	終了後にご相談ください。
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行いま け、簡単なコミュニケーションが	す。韓国語の基本的な4技能(聞く、 できることを目標とします。	話す、読む、書く)を身につ
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>1. ハングル文字を読み、書くこと</li> <li>2. 身近なトピックについて、口頭</li> <li>3. 身近なトピックについて、文章</li> </ol>	頁(2分以上)で会話できる。	
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 土体性/Autonomy		- 1
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者と various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve prol E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than	化を促す授業手法 / Teaching (	ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate
放鎮評価の方法・基準寺/Method of evaluation	55% 合計100点のうち60点以上を合格と	Speaking Test (10点×2回=20点)	+ 定期試験(20点) = 60点
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は技業計画詳細を参照 		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review		り予習復習を行う ( 0.5h ) 、理解を確実にするように努める。 調べ、クラスメートや教員に質問し	
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	配布プリント 冊子状に整理して		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	書類を確認し、教員に提出する。	格とする。やむを得ず欠席した場合 メールや電話で連絡する必要はない。 刻する。打刻を忘れた場合は、入室	0

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか	N N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ ハングルのしくみ(対面)
2010	The state of the s
第2回	Task:透視能力はある?(対面)
第2回	Task:透視能力はある?(対面)
第2回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面)
第2回 第3回 第4回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No. 1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No.1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面) Task: 私は何をしているのかな? (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	Task: 透視能力はある?(対面) Task: きょうだいはいる?(対面) Task: 相性No. 1はだれ?(対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは?(対面) Task: 私は何をしているのかな?(対面) Task: 予定表を作ろう(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面) Task: 私は何をしているのかな? (対面) Task: 予定表を作ろう(対面) Task: 私の趣味は・・・(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第13回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No.1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task:夏休みにしたいことは?(対面) Task:私は何をしているのかな?(対面) Task:私は何をしているのかな?(対面) Task:私なの趣味は・・・(対面) Project 2 身近な人を紹介しよう(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択/required, elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563001005	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (T(韓2)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目、全学モジュール 科	 目	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室/Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	T(韓2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp(メ	ールを送信する際は を@に置き換え	にて送信してください)
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希望	望する場合は、授業開始前もしくは	終了後にご相談ください。
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行いま け、簡単なコミュニケーションが	す。韓国語の基本的な4技能(聞く、 できることを目標とします。	話す、読む、書く)を身につ
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>1. ハングル文字を読み、書くこと</li> <li>2. 身近なトピックについて、口頭</li> <li>3. 身近なトピックについて、文章</li> </ol>	頁(2分以上)で会話できる。	
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 ( 1 つ以上 3 つまで ) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	Diversity 土体性/Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者と various perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve prod E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than F.教員からの講義のみで構成さ	化を促す授業手法 / Teaching   the above れる br>/ It consists only of lo	ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate
放鎮評価の方法・基準寺/Method of evaluation	55% 合計100点のうち60点以上を合格と	Speaking Test (10点×2回=20点)	+ 定期試験(20点) = 60点
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は技業計画詳細を参照 		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review		り予習復習を行う(0.5h) 、理解を確実にするように努める。 調べ、クラスメートや教員に質問し	
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	配布プリント 冊子状に整理して		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	書類を確認し、教員に提出する。	格とする。やむを得ず欠席した場合 メールや電話で連絡する必要はない。 刻する。打刻を忘れた場合は、入室	0

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか	N N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ ハングルのしくみ(対面)
2010	The state of the s
第2回	Task:透視能力はある?(対面)
第2回	Task:透視能力はある?(対面)
第2回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面)
第2回 第3回 第4回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No. 1はだれ?(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No. 1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No.1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面) Task: 私は何をしているのかな? (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	Task: 透視能力はある?(対面) Task: きょうだいはいる?(対面) Task: 相性No. 1はだれ?(対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは?(対面) Task: 私は何をしているのかな?(対面) Task: 予定表を作ろう(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面) Task: 私は何をしているのかな? (対面) Task: 予定表を作ろう(対面) Task: 私の趣味は・・・(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第13回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No.1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task:夏休みにしたいことは?(対面) Task:私は何をしているのかな?(対面) Task:私は何をしているのかな?(対面) Task:私なの趣味は・・・(対面) Project 2 身近な人を紹介しよう(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択/required, elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563001006	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (M4~M6_T(韓1))/Kor	ean	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目,全学モジュール 科	 目	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室/Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	M4~M6_T(韓1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp(メ	ールを送信する際は を@に置き換え	にて送信してください)
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希	望する場合は、授業開始前もしくは	終了後にご相談ください。
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行いま け、簡単なコミュニケーションが	す。韓国語の基本的な4技能(聞く、 できることを目標とします。	話す、読む、書く)を身につ
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>1. ハングル文字を読み、書くこと</li> <li>2. 身近なトピックについて、口頭</li> <li>3. 身近なトピックについて、文章</li> </ol>	頁(2分以上)で会話できる。	
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 土体性/Autonomy		- 1
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者と various perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve pro E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than F.教員からの講義のみで構成さ	化を促す授業手法 / Teaching   the above れる br>/ It consists only of lo	ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate
放鎮評価の方法・基準寺/Method of evaluation	55% 合計100点のうち60点以上を合格と	Speaking Test (10点×2回=20点)	+ 定期試験(20点) = 60点
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は技業計画計細を参照 		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review		り予習復習を行う ( 0.5h ) 、理解を確実にするように努める。 調べ、クラスメートや教員に質問し	
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	配布プリント 冊子状に整理して		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	書類を確認し、教員に提出する。	格とする。やむを得ず欠席した場合 メールや電話で連絡する必要はない。 刻する。打刻を忘れた場合は、入室	0

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。
実務経験のある教員による授業科目であるか	N N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ウォームアップ・アクティビティ ハングルのしくみ(対面)
2010	The state of the s
第2回	Task:透視能力はある?(対面)
第2回	Task:透視能力はある?(対面)
第2回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面)
第2回 第3回 第4回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No. 1はだれ?(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No. 1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No.1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面) Task: 私は何をしているのかな? (対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	Task: 透視能力はある?(対面) Task: きょうだいはいる?(対面) Task: 相性No. 1はだれ?(対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは?(対面) Task: 私は何をしているのかな?(対面) Task: 予定表を作ろう(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面) Task: 私は何をしているのかな? (対面) Task: 予定表を作ろう(対面) Task: 私の趣味は・・・(対面)
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第13回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No.1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task:夏休みにしたいことは?(対面) Task:私は何をしているのかな?(対面) Task:私は何をしているのかな?(対面) Task:私なの趣味は・・・(対面) Project 2 身近な人を紹介しよう(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間/Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択/required, elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563001007	科目番号 / Course code	05630010
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11119_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (M1~M3_K1~K3)/Kor	ean	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
科目分類/Course Category	外国語科目、全学モジュール 科	<u> </u>	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	M1 ~ M3_K1 ~ K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address		ールを送信する際は を@に置き換え	とて送信してください)
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3~4限 その他の曜日と時間を希望する場合は、授業開始前もしくは終了後にご相談ください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>ハングル文字を読み、書くことができる。</li> <li>身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。</li> <li>身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回 = 20点) 25% Fun Essay(10点×2回 = 20点) + Speaking Test(10点×2回 = 20点) + 定期試験(20点) = 60点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 教科書及び配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど 図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス オン フォームで身につくトラィ 配布プリント 冊子状に整理して	´!韓国語』ゆうきょんみ 朝日出版 (綴じて)授業に持参する。	<b>反社</b>
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な 書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、ICカードリーダで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し 、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。	
学生へのメッセージ/Message for students	教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラスメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の一つです。	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N N	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience		
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	ウォームアップ・アクティビティ ハングルのしくみ (対面)	
2010	The state of the s	
第2回	Task:透視能力はある?(対面)	
第2回	Task:透視能力はある?(対面)	
第2回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面)	
第2回 第3回 第4回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No. 1はだれ?(対面)	
第2回 第3回 第4回 第5回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No. 1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面)	
第2回 第3回 第4回 第5回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面)	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面) Project 1 自分のことを伝えよう (対面)	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No.1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面)	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面)	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面) Task: 私は何をしているのかな? (対面)	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回	Task: 透視能力はある?(対面) Task: きょうだいはいる?(対面) Task: 相性No. 1はだれ?(対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは?(対面) Task: 私は何をしているのかな?(対面) Task: 予定表を作ろう(対面)	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回	Task: 透視能力はある? (対面) Task: きょうだいはいる? (対面) Task: 相性No. 1はだれ? (対面) Task: クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task: 夏休みにしたいことは? (対面) Task: 私は何をしているのかな? (対面) Task: 予定表を作ろう(対面) Task: 私の趣味は・・・(対面)	
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第13回	Task:透視能力はある?(対面) Task:きょうだいはいる?(対面) Task:相性No.1はだれ?(対面) Task:クラスの実態調査をしよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) Project 1 自分のことを伝えよう(対面) スピーキングテスト (対面) Task:夏休みにしたいことは?(対面) Task:私は何をしているのかな?(対面) Task:私は何をしているのかな?(対面) Task:私なの趣味は・・・(対面) Project 2 身近な人を紹介しよう(対面)	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間/Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択/Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563003001	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (G1~G3_L(韓1))/Kore	ean	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	パク ユギョン/PARK YUKYUNG,	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi	
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	パク ユギョン/PARK YUKYUNG		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	パク ユギョン/PARK YUKYUNG		
科目分類 / Course Category			
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室 / Class room			J., 1, 2, 3
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	G1~G3_L(韓1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	= \ ,	 ルを送信する際は を@に置き換えて	 [送信してください)
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室(教養教育事務室)		, ,
担当教員TEL/Tel	11 (1523) 13413 13413 1332 1		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview	小曜日3PRの前後 積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。		
授業到達目標/Course goals	1)、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。 1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点)25% Fun Essay(10点×2回=20点)+Speaking Test(10点×2回=20点)+定期試験20点=60点 55%合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス オン フォームで身につくトライ配布プリント 冊子状に整理して	(リコリアン』ゆうきょんみ 朝日出 (綴じて)授業に持参する。	出版社
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、ICカードリーダで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  備考/Remarks  学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp 授業は対面形式で実施します。 教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラ スメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使 用)/Name/Details of practical experience/	一つです。 N	
Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	前期の振り返り ウォーミングアップ・アクティビティ	
第2回	Task: 夏休みビンゴ (対面)	
第3回	Task: To see Koalas(対面)	
第4回	Task:インタビューしよう(対面)	
第5回	Task:週末何をした?(対面)	
第6回	Project 3 夏休みの思い出(対面)	
第7回	Project 3 夏休みの思い出(対面)	
第8回	スピーキングテスト (対面)	
第9回	Task: 新入社員を採用しよう(対面)	
第10回	Task:役割分担表を作ろう(対面)	
第11回	Task:アンサーゲーム(対面)	
第12回	Task:新年の計画は?(対面)	
第13回	Project 4 将来の夢(対面)	
第14回	Project 4 将来の夢(対面)	
第15回	スピーキングテスト (対面)	
第16回	定期試験 ペーパーテスト(対面)	

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 後期 /Second Semester	曜日・校時/Day・Period	火/Tue 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563003002	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (E(韓1)_F1~F3)/Kore	ean	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
科目分類/Course Category	<u></u> 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室/Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	E(韓1)_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp(メ	ールを送信する際は を@に置き換え	て送信してください)
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希	望する場合は、授業開始前もしくは	終了後にご相談ください。
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行いま け、簡単なコミュニケーションが	す。韓国語の基本的な4技能(聞く、 できることを目標とします。	話す、読む、書く)を身につ
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>1. ハングル文字を読み、書くことができる。</li> <li>2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。</li> <li>3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 ( 1 つ以上 3 つまで ) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dtivities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 btudents' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される ft consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay (10点×2回=20点) + Speaking Test (10点×2回=20点) + 定期試験20点=60点 55%合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	配布プリント 冊子状に整理して		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、ICカードリーダで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  備考/Remarks  学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp 授業は対面形式で実施します。 教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラ スメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使 用)/Name/Details of practical experience/	一つです。 N	
Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	前期の振り返り ウォーミングアップ・アクティビティ	
第2回	Task: 夏休みビンゴ (対面)	
第3回	Task: To see Koalas(対面)	
第4回	Task:インタビューしよう(対面)	
第5回	Task:週末何をした?(対面)	
第6回	Project 3 夏休みの思い出(対面)	
第7回	Project 3 夏休みの思い出(対面)	
第8回	スピーキングテスト (対面)	
第9回	Task: 新入社員を採用しよう(対面)	
第10回	Task:役割分担表を作ろう(対面)	
第11回	Task:アンサーゲーム(対面)	
第12回	Task:新年の計画は?(対面)	
第13回	Project 4 将来の夢(対面)	
第14回	Project 4 将来の夢(対面)	
第15回	スピーキングテスト (対面)	
第16回	定期試験 ペーパーテスト(対面)	

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 後期 /Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	7大 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563003003	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (L(韓2)_P1・P2_J1~J:	3) / Korean	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
科目分類/Course Category	<u></u> 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	L(韓2)_P1・P2_J1~J3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp(メ	ールを送信する際は を@に置き換え	て送信してください)
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希	望する場合は、授業開始前もしくは	終了後にご相談ください。
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行いま け、簡単なコミュニケーションが	す。韓国語の基本的な4技能(聞く、 できることを目標とします。	話す、読む、書く)を身につ
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>1. ハングル文字を読み、書くことができる。</li> <li>2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。</li> <li>3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 ( 1 つ以上 3 つまで ) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dtivities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 btudents' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される ft consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点)25% Fun Essay(10点×2回=20点)+Speaking Test(10点×2回=20点)+定期試験20点=60点 55%合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	配布プリント 冊子状に整理して		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、ICカードリーダで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  備考/Remarks  学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp 授業は対面形式で実施します。 教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラ スメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使 用)/Name/Details of practical experience/	一つです。 N	
Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	前期の振り返り ウォーミングアップ・アクティビティ	
第2回	Task: 夏休みビンゴ (対面)	
第3回	Task: To see Koalas (対面)	
第4回	Task:インタビューしよう(対面)	
第5回	Task:週末何をした?(対面)	
第6回	Project 3 夏休みの思い出(対面)	
第7回	Project 3 夏休みの思い出(対面)	
第8回	スピーキングテスト (対面)	
第9回	Task: 新入社員を採用しよう(対面)	
第10回	Task:役割分担表を作ろう(対面)	
第11回	Task:アンサーゲーム(対面)	
第12回	Task:新年の計画は?(対面)	
第13回	Project 4 将来の夢(対面)	
第14回	Project 4 将来の夢(対面)	
第15回	スピーキングテスト (対面)	
第16回	定期試験 ペーパーテスト(対面)	

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 後期 /Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水/Wed 2
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563003004	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (E(韓2)_D1・D2)/Kore	ean	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category			
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	E(韓2)_D1・D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp(メ	ールを送信する際は を@に置き換え	にて送信してください)
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希	望する場合は、授業開始前もしくは	終了後にご相談ください。
授業の概要及び位置づけ/Course overview		積極的な学生参加型授業を行います。韓国語の基本的な4技能(聞く、話す、読む、書く)を身につけ、簡単なコミュニケーションができることを目標とします。	
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>1. ハングル文字を読み、書くことができる。</li> <li>2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。</li> <li>3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 ( 1 つ以上 3 つまで ) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dtivities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 btudents' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される ft consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点) 25% Fun Essay (10点×2回=20点) + Speaking Test (10点×2回=20点) + 定期試験20点=60点 55%合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	配布プリント 冊子状に整理して		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、ICカードリーダで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  備考/Remarks  学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp 授業は対面形式で実施します。 教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラ スメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使 用)/Name/Details of practical experience/	一つです。 N	
Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	前期の振り返り ウォーミングアップ・アクティビティ	
第2回	Task: 夏休みビンゴ (対面)	
第3回	Task: To see Koalas (対面)	
第4回	Task:インタビューしよう(対面)	
第5回	Task:週末何をした?(対面)	
第6回	Project 3 夏休みの思い出(対面)	
第7回	Project 3 夏休みの思い出(対面)	
第8回	スピーキングテスト (対面)	
第9回	Task: 新入社員を採用しよう(対面)	
第10回	Task:役割分担表を作ろう(対面)	
第11回	Task:アンサーゲーム(対面)	
第12回	Task:新年の計画は?(対面)	
第13回	Project 4 将来の夢(対面)	
第14回	Project 4 将来の夢(対面)	
第15回	スピーキングテスト (対面)	
第16回	定期試験 ペーパーテスト(対面)	

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 後期 /Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 3
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563003005	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (M1~M3_K1~K3)/Kore	ean	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室/Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	M1 ~ M3_K1 ~ K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp(メ	ールを送信する際は を@に置き換 <i>え</i>	て送信してください)
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希	望する場合は、授業開始前もしくは	終了後にご相談ください。
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行いま け、簡単なコミュニケーションが	す。韓国語の基本的な4技能(聞く、 できることを目標とします。	話す、読む、書く)を身につ
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>1. ハングル文字を読み、書くことができる。</li> <li>2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。</li> <li>3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 ( 1 つ以上 3 つまで ) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dtivities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 btudents' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される ft consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回=20点)25% Fun Essay(10点×2回=20点)+Speaking Test(10点×2回=20点)+定期試験20点=60点 55%合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	配布プリント 冊子状に整理して		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、ICカードリーダで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  備考/Remarks  学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp 授業は対面形式で実施します。 教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラ スメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使 用)/Name/Details of practical experience/	一つです。 N	
Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	前期の振り返り ウォーミングアップ・アクティビティ	
第2回	Task: 夏休みビンゴ (対面)	
第3回	Task: To see Koalas (対面)	
第4回	Task:インタビューしよう(対面)	
第5回	Task:週末何をした?(対面)	
第6回	Project 3 夏休みの思い出(対面)	
第7回	Project 3 夏休みの思い出(対面)	
第8回	スピーキングテスト (対面)	
第9回	Task: 新入社員を採用しよう(対面)	
第10回	Task:役割分担表を作ろう(対面)	
第11回	Task:アンサーゲーム(対面)	
第12回	Task:新年の計画は?(対面)	
第13回	Project 4 将来の夢(対面)	
第14回	Project 4 将来の夢(対面)	
第15回	スピーキングテスト (対面)	
第16回	定期試験 ペーパーテスト(対面)	

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 後期 /Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
用講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択/Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563003006	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (M4~M6_T(韓1))/Kore	ean	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
科目分類/Course Category	<u></u> 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11/RoomA-11		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	E(韓1)_F1~F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp(メ	ールを送信する際は を@に置き換え	て送信してください)
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希	望する場合は、授業開始前もしくは	終了後にご相談ください。
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行いま け、簡単なコミュニケーションが	す。韓国語の基本的な4技能(聞く、 できることを目標とします。	話す、読む、書く)を身につ
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>1. ハングル文字を読み、書くことができる。</li> <li>2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。</li> <li>3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 ( 1 つ以上 3 つまで ) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dtivities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 btudents' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回 = 20点) 25% Fun Essay (10点×2回 = 20点) + Speaking Test (10点×2回 = 20点) + 定期試験20点 = 60点 55%合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	計		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス オン フォームで身につくトライ!コリアン』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	な書類を確認し、教員に提出する。	失格とする。やむを得ず欠席した場。メールや電話で連絡する必要はな 刻する。打刻を忘れた場合は、入室	l 1 <sub>0</sub>

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  備考/Remarks  学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp 授業は対面形式で実施します。 教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラ スメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使 用)/Name/Details of practical experience/	一つです。 N
Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	前期の振り返り ウォーミングアップ・アクティビティ
第2回	Task: 夏休みビンゴ (対面)
第3回	Task: To see Koalas (対面)
第4回	Task:インタビューしよう(対面)
第5回	Task:週末何をした?(対面)
第6回	Project 3 夏休みの思い出(対面)
第7回	Project 3 夏休みの思い出(対面)
第8回	スピーキングテスト (対面)
第9回	Task: 新入社員を採用しよう(対面)
第10回	Task:役割分担表を作ろう(対面)
第11回	Task:アンサーゲーム(対面)
第12回	Task:新年の計画は?(対面)
第13回	Project 4 将来の夢(対面)
第14回	Project 4 将来の夢(対面)
第15回	スピーキングテスト (対面)
第16回	定期試験 ペーパーテスト(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 後期 /Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
用講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択/Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563003007	科目番号 / Course code	05630030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11219_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (T(韓2)) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
科目分類/Course Category	<u></u> 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室/Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	T(韓2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp(メ	ールを送信する際は を@に置き換え	上て送信してください)
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希	望する場合は、授業開始前もしくは	終了後にご相談ください。
授業の概要及び位置づけ/Course overview	積極的な学生参加型授業を行いま け、簡単なコミュニケーションが	す。韓国語の基本的な4技能(聞く、 できることを目標とします。	話す、読む、書く)を身につ
授業到達目標/Course goals	1. ハングル文字を読み、書くことができる。 2. 身近なトピックについて、口頭(2分以上)で会話できる。 3. 身近なトピックについて、文章(30ワード以上)で表現できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 ( 1 つ以上 3 つまで ) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dtivities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 btudents' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×10回 = 20点) 25% Fun Essay (10点×2回 = 20点) + Speaking Test (10点×2回 = 20点) + 定期試験20点 = 60点 55%合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	計論は授業計画計論を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシートにより予習復習を行う(0.5h) 配布プリントを再読し、理解を確実にするように努める。理解できない点は、そのつど図書館やインターネットを用いて調べ、クラスメートや教員に質問し、解決する(0.5h)		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『フォーカス オン フォームで身につくトライ!コリアン』ゆうきょんみ 朝日出版社 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	な書類を確認し、教員に提出する。	失格とする。やむを得ず欠席した場 。メールや電話で連絡する必要はな 刻する。打刻を忘れた場合は、入室	l 1 <sub>0</sub>

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)  備考/Remarks  学生へのメッセージ/Message for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp 授業は対面形式で実施します。 教養教育は、異学部の人と関わり合える貴重な機会です。授業で理解できない点があったら、クラ スメートに声をかけ、助けてもらいましょう。協働する力は、これからの社会が必要とする資質の
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教 育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使 用)/Name/Details of practical experience/	一つです。 N
Contents of course 授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	前期の振り返り ウォーミングアップ・アクティビティ
第2回	Task: 夏休みビンゴ (対面)
第3回	Task: To see Koalas (対面)
第4回	Task:インタビューしよう(対面)
第5回	Task:週末何をした?(対面)
第6回	Project 3 夏休みの思い出(対面)
第7回	Project 3 夏休みの思い出(対面)
第8回	スピーキングテスト (対面)
第9回	Task: 新入社員を採用しよう(対面)
第10回	Task:役割分担表を作ろう(対面)
第11回	Task:アンサーゲーム(対面)
第12回	Task:新年の計画は?(対面)
第13回	Project 4 将来の夢(対面)
第14回	Project 4 将来の夢(対面)
第15回	スピーキングテスト (対面)
第16回	定期試験 ペーパーテスト(対面)

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択/required, elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563005001	科目番号 / Course code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11319_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2G1~2G3) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	 外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	2, 3, 4 教養教育A棟11/RoomA-11	REP SCITCE / OUGISC Style	/AB / SciiiIIIai
対象 / Ulass room   対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教食教育A株TT / ROOMA-TT 2G1~2G3		
対象字主(グラス寺) / Intended year (Class) 担当教員Eメールアドレス/E-mail address		U 女学停才之際计 女 @ L 罢 类 協 ?	テンジー
		ールを送信する際は を®に置き換え	して区信してください)
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel		Story 교육이 선생님 사건으로 기계	+//a = 7/4/1*+==+/ / +*-+/ )
担当教員オフィスアワー/Office hours		6望する場合は、授業開始前もしくに す。韓国語の基本的な4技能(話す、	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	け、身近な話題でコミュニケーシ	ョンができることを目標とします。	国へ、音へ、読む)を身にフ
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>1. ハングル文字を読み、書くこと</li> <li>2. 身近なトピックについて、口頭</li> <li>3. 身近なトピックについて、文章</li> </ol>	頁(3分以上)で会話できる。	
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 土体性/Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者と various perspectives C.技能修得のために実践する活動の問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve prol E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than	化を促す授業手法 / Teaching (	ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×12回=24点) 25% Essay Writing 10点×3回30点+Sp =80点 55% 合計100点のうち60点以上を合格と	peaking 10点×2回20点 +Reading i ごする。	Test 10点+Paper Test 20点
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	教科書及び毎回配布されるワーク	シートにより予習復習を行う (1h)	
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『できる韓国語 初級』DEKIRU出版 配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	な書類を確認し、教員に提出する。	失格とする。やむを得ず欠席した場 。メールや電話で連絡する必要はな 刻する。打刻を忘れた場合は、入室	l 1.

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 6
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修,選択/required, elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563005002	科目番号 / Course code	05630050
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11319_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (再履修) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the			
course syllabus	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者)			
/Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等)			
/ Instructor(s)	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態/Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	再履修		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	vou-kiss nagasaki-u.ac.ip (人	 −ルを送信する際は を@に置き換 <i>え</i>	 Lて送信してください)
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室	,, cally class.	- Table Control
担当教員TEL/Tel	3X CX 3X 13 C PIX 14 C C C C C C C C C C C C C C C C C C		
担当教員オフィスアワー/Office hours		 する場合は、授業開始前もしくは終 <sup>*</sup>	
		す。韓国語の基本的な4技能(話す、	
授業の概要及び位置づけ/Course overview		ョンができることを目標とします。	
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>1. ハングル文字を読み、書くこと</li> <li>2. 身近なトピックについて、口頭</li> <li>3. 身近なトピックについて、文章</li> </ol>	頁(3分以上)で会話できる。	
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 土体性 / Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者と various perspectives C.技能修得のために実践する活 D.問題解決のために知識を総合 utilize knowledge to solve prol E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than	化を促す授業手法 / Teaching r	ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題(2点×12回=24点) 25% Essay Writing 10点×3回30点+Speaking 10点×2回20点 +Reading Test 10点+Paper Test 20点 = 80点 55% 合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシート及び	教科書により予習復習を行う(1h)	
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『できる韓国語 初級』DEKIRU出版		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	な書類を確認し、教員に提出する。	(綴じて)授業に持参する。 失格とする。やむを得ず欠席した場 。メールや電話で連絡する必要はな 刻する。打刻を忘れた場合は、入室	l 1 <sub>0</sub>

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL)support@nl.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。 可能な限り、金2限に開講される韓国語 を履修してください。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 1 Three Things about Me 話す/聞く:1min. 書く:30 words (対面)
第2回	Topic 1 話す/聞く:2 min, 書く: 50 words (対面)
第3回	Topic1 話す/ 聞く:3 min 書く: 70 words (対面)
第4回	Topic1 (対面)
第5回	Topic 2 Local Culture 話す/聞く:1 min.書く:30 words(対面)
第6回	Topic 2 話す/ 聞く:2 min. 書く: 50 words (対面)
第7回	Topic 2 話す/ 聞く:3 min. 書く: 70 words (対面)
第8回	Topic 2 Local Culture (対面)
第9回	Speaking Test: Three Things about Me or Local Culture(対面)
第10回	Paper Test (対面) Topic 3 Life Styles 話す/聞く:1 min. 書く: 30 words
第11回	Topic 3 話す/ 聞く:2 min. 書く: 50 words (対面)
第12回	Topic 3 話す/ 聞く:3 min. 書く: 70 words (対面)
第13回	Topic 3 (対面)
第14回	Speaking Test: Local Culture or Life Styles(対面)
第15回	Reading Test (対面)

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 2
開講期間 / Course duration	/ Second Semester 2024/09/30 ~ 2025/03/31		I
用調知  17 Course duration	2024/09/30 ~ 2025/05/31	兴 (六米5 / 南瓜 / 4台 ) / 5万 24 \ / 0 = - 4 : 4 =	
必修選択/Required / Elective	必修,選択/required, elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563007001	科目番号 / Course code	05630070
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEKR 11419_032		
授業科目名 / Course title	韓国語 (2G1~2G3)/Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
/ Instructor(s)	사 모하시 B		
科目分類 / Course Category	外国語科目	· 基美形能 / Course atv.la	字羽 / Coming r
対象年次 / Intended year 教室 / Class room	2, 3, 4 教養教育A棟11/RoomA-11	講義形態/Course style	演習 / Seminar
	教食教育A株TT / ROOMA-TT 2G1~2G3		
対象学生(クラス等) /Intended year (class) 担当教員Eメールアドレス/E-mail address			テア学信してください)
		ールを送信する際は を@に置き換え	には信じてください)
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel		현구기묘소나 전光묘사꼭~~ / /	ルカフルタ ローデャン ナッチェ
担当教員オフィスアワー/Office hours		望する場合は、授業開始前もしくは す。韓国語の基本的な4技能(話す、	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	け、身近な話題でコミュニケーシ	ョンができることを目標とします。	<b>国へ、書へ、読む)を身に</b> り
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>ハングル文字を読み、書くことができる。</li> <li>身近なトピックについて、口頭(3分以上)で会話できる。</li> <li>身近なトピックについて、文章(70ワード以上)で表現できる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力/Generic Competend Diversity 主体性/Autonomy	ce 倫理観 / Ethics 多様性の	理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者とl various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合l utilize knowledge to solve prol E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than	化を促す授業手法 / Teaching	ink over Iving others to think from  for acquiring skills s that comprehensively  methods to stimulate
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題 Essay Writing 10点×3回30点+S = 80点 55% 合計100点のうち60点以上を合格と	peaking 10点×2回20点 +Reading	Test 10点+Paper Test 20点
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回配布されるワークシート及び	教科書により予習復習を行う(1h)	
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『できる韓国語 初級』DEKIRU出版		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	配布プリント 冊子状に整理して(綴じて)授業に持参する。 出席が3分の2に達しない場合は、失格とする。やむを得ず欠席した場合は、教養教育事務室で必要な書類を確認し、教員に提出する。メールや電話で連絡する必要はない。 入室の際、ICカードリーダで打刻する。打刻を忘れた場合は、入室の際、出席届出用紙に記入し、教員に提出する。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 4 How was the break 話す/聞く:1 min. 書く:30 words (対面)
第2回	Topic 4 話す/ 聞く:2 min, 書く: 50 words (対面)
第3回	Topic 4 話す/ 聞く:3 min 書く: 70 words (対面)
第4回	Topic 4 (対面)
第5回	Topic 5 Close friends 話す/聞く:1 min.書く:30 words(対面)
第6回	Topic 5 話す/ 聞く:2 min. 書く: 50 words (対面)
第7回	Topic 5 話す/ 聞く:3 min. 書く: 70 words (対面)
第8回	Topic 5 (対面)
第9回	Speaking Test: How was the break or Close friends Reading Test (対面)
第10回	Topic 6 Future Dreams 話す/ 聞く:1 min. 書く: 30 words (対面)
第11回	Topic 6 話す/ 聞く:2 min. 書く: 50 words (対面)
第12回	Topic 6 話す/ 聞く:3 min. 書く: 70 words (対面)
第13回	Topic 6 (対面)
第14回	Speaking Test: Close Friends or Future Dreams (対面)
第15回	Paper Test (対面)

	2024年度 / Academic Year 後期		
学期 / Semester	/ Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 6
開講期間/Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択/required, elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240563007002	科目番号 / Course code	05630070
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEKR 11419_032		
授業科目名/Course title	韓国語 (再履修) / Korean		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	ユウ キョンミ/Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Course Category	外国語科目		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	教養教育A棟11/RoomA-11		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	再履修		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss nagasaki-u.ac.jp(メ	ールを送信する際は を@に置き換え	にて送信してください)
担当教員研究室/Office	教養教育B棟1階106番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	月~金12:05頃 その他の時間を希	望する場合は、授業開始前もしくは	終了後にご相談ください。
授業の概要及び位置づけ/Course overview		す。韓国語の基本的な4技能(話す、 ョンができることを目標とします。	聞く、書く、読む)を身につ
授業到達目標/Course goals	<ol> <li>ハングル文字を読み、書くことができる。</li> <li>身近なトピックについて、口頭(3分以上)で会話できる。</li> <li>身近なトピックについて、文章(70ワード以上)で表現できる。</li> </ol>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	汎用的能力/Generic Competend		理解 / Understanding
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than	Diversity 主体性/Autonomy		- 1
knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )		は社会への関心/Interest in inter	- 1
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the B.多角的に考えるために他者と! various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合に utilize knowledge to solve prot E.上記以外の学生の思考の活性 students' thinking other than F.教員からの講義のみで構成さ	化を促す授業手法 / Teaching   the above れる br>/ It consists only of Id	ink over Iving others to think from for acquiring skills s that comprehensively methods to stimulate
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への取り組み方 20% 課題 Essay Writing 10点×3回30点+Sp =80点 55% 合計100点のうち60点以上を合格と	peaking 10点×2回20点 +Reading i	Test 10点+Paper Test 20点
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	教科書及び毎回配布されるワーク	シートにより予習復習を行う(1h)	
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	『できる韓国語 初級』DEKIRU出版		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	な書類を確認し、教員に提出する。	(綴じて)授業に持参する。 失格とする。やむを得ず欠席した場 。メールや電話で連絡する必要はな 刻する。打刻を忘れた場合は、入室	l 1 <sub>0</sub>

アクセシビリティ/Accessibility (for students	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下
	さい。
with disabilities)	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業は対面形式で実施します。
	可能な限り、金2限開講の韓国語 を履修してください
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N .
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	Topic 4 How was the break 話す/聞く:1 min. 書く:30 words (対面)
第2回	Topic 4 話す/ 聞く:2 min, 書く: 50 words (対面)
第3回	Topic 4 話す/ 聞く:3 min 書く: 70 words (対面)
第4回	Topic 4 (対面)
第5回	Topic 5 Close friends 話す/聞く:1 min.書く:30 words(対面)
第6回	Topic 5 話す/ 聞く:2 min. 書く: 50 words (対面)
第7回	Topic 5 話す/ 聞く:3 min. 書く: 70 words (対面)
第8回	Topic 5 (対面)
第9回	Speaking Test: How was the break or Close friends(対面) Reading Test
第10回	Topic 6 Future Dreams 話す/聞く:1 min.書く: 30 words (対面)
第11回	Topic 6 話す/ 聞く:2 min. 書く: 50 words (対面)
第12回	Topic 6 話す/聞く:3 min. 書く: 70 words (対面)
第13回	Topic 6(対面)
第14回	Speaking Test: Close Friends or Future Dreams (対面)
第15回	Paper Test (対面)